

インターネット証券 4 社共同実施「投資信託に関わるアンケート」の結果

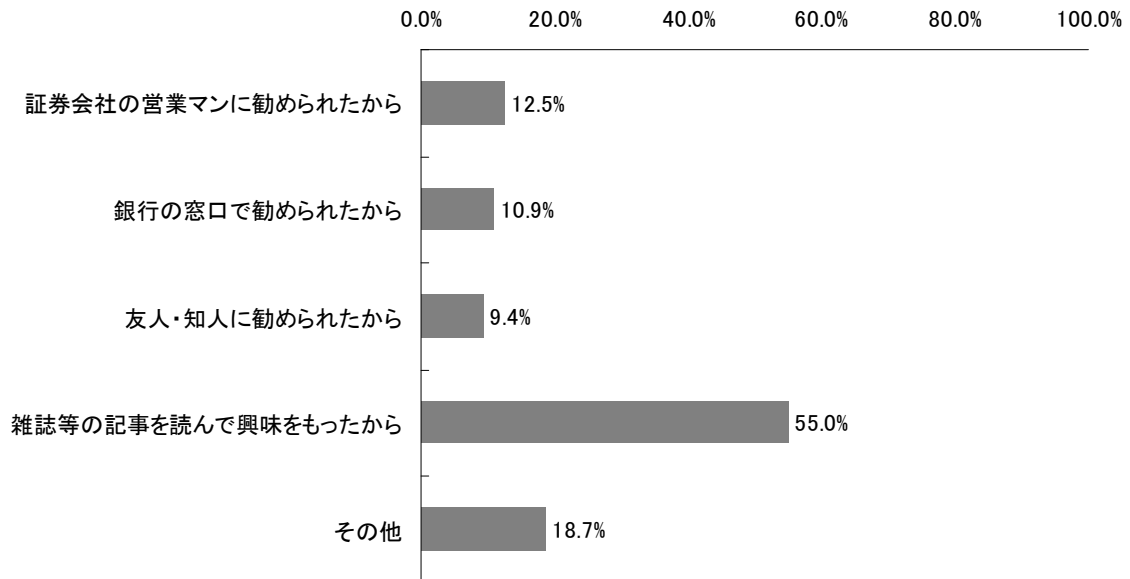
本アンケートは、選択式で回答する質問 10 問にて実施しました。

【Q1】 投資信託を最初に購入したきっかけはなんですか？

「雑誌等の記事を読んで興味をもったから」という回答が最も多く、その他の意見でも散見された「ネット証券の提供する情報やセミナー」「著名投資家等の発信する情報」「自分で調べて」といった理由をあわせると、自ら学び収集した情報を元に購入する投資家が多いという傾向が見受けられました。

他方、営業マンや周囲の人からの勧めで購入した投資家も 3 分の 1 を占めており、その他の意見でも「401k（確定拠出年金）」「相続」といった外部要因がきっかけとなることも依然多いと言えます。

なお、その他の意見の多くは、「投資信託を購入したことがない」というものであります。

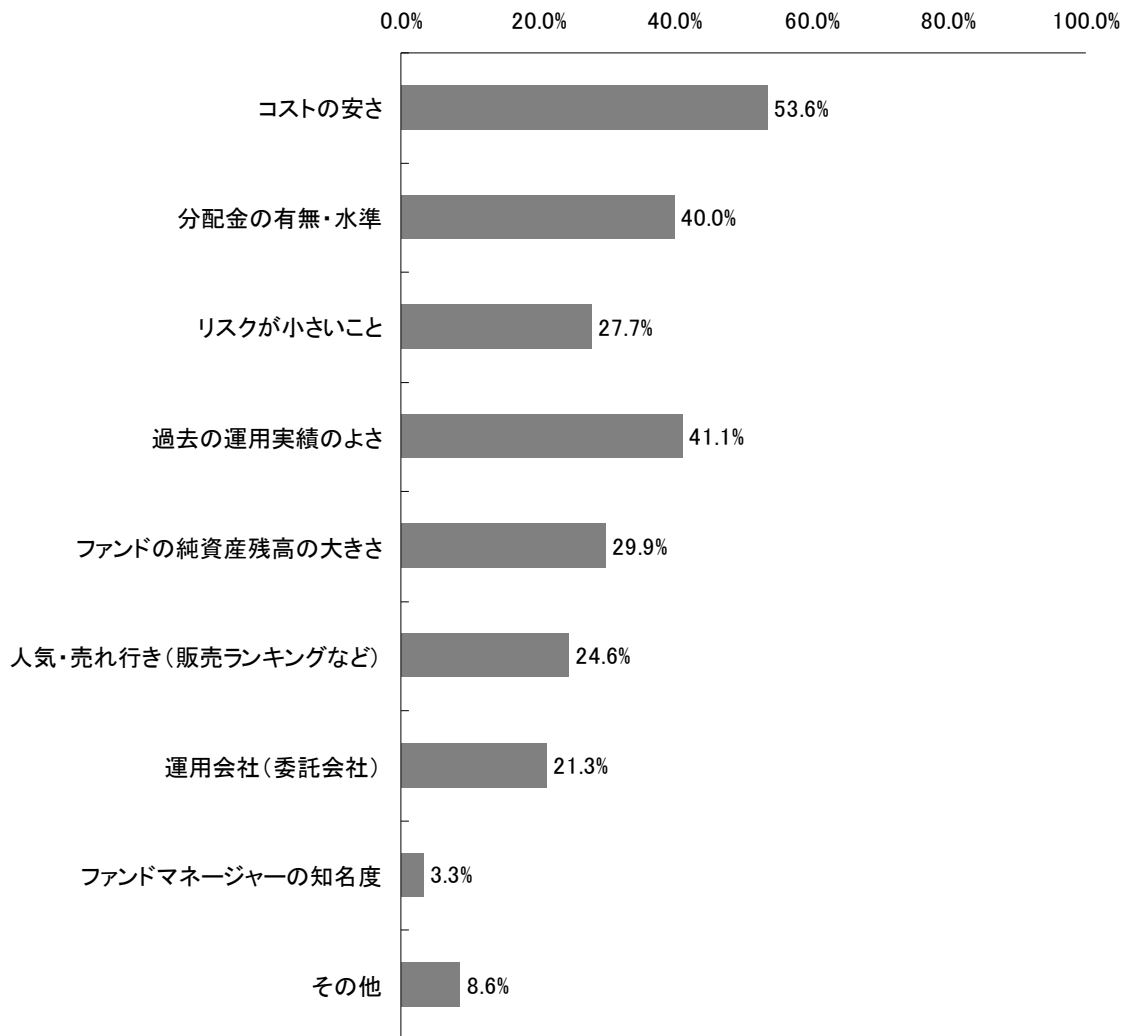


【Q2】 投資信託を選ぶ際に何を重点に選びますか？

最も多かったのは「コストの安さ」であり、ネット証券の投資信託に期待すること（Q5）として「ネットビジネスである以上、あくまで低コストを追及してほしい」「シンプルで手数料の安いファンドに重点を置いてほしい」の2つの回答が格段に多かったこととあわせると、ネット投資家はコスト意識が高い、という一般的な印象を裏付ける結果となりました。なお、その他の意見の中には、「ノーロード」の回答も散見されました。

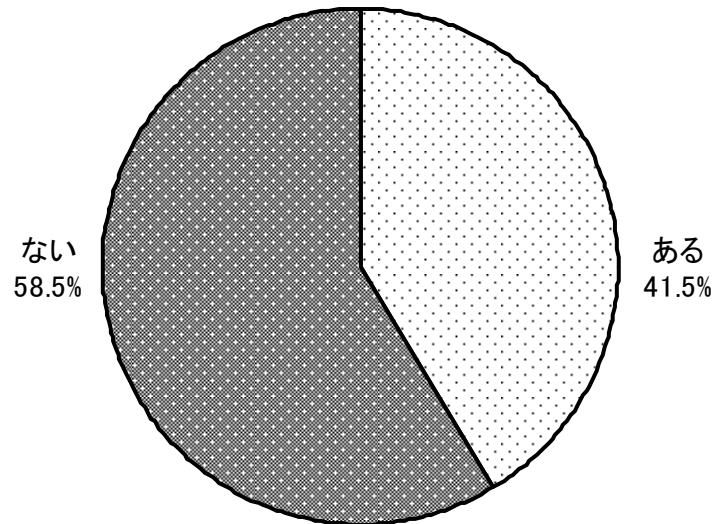
また、3番目に多かった回答は「分配金の水準・有無」であり、ネット投資家の中にも、分配型投信への関心が高い投資家層が今や相当の割合で存在していることが窺われます。

その他の意見としては、「投資対象・投資分野」「投資地域」「投資テーマ」「投資先」「インデックス」といった商品性を重視するものが目立ちました。



【Q3】 銀行や対面証券で投信を購入したことがありますか？

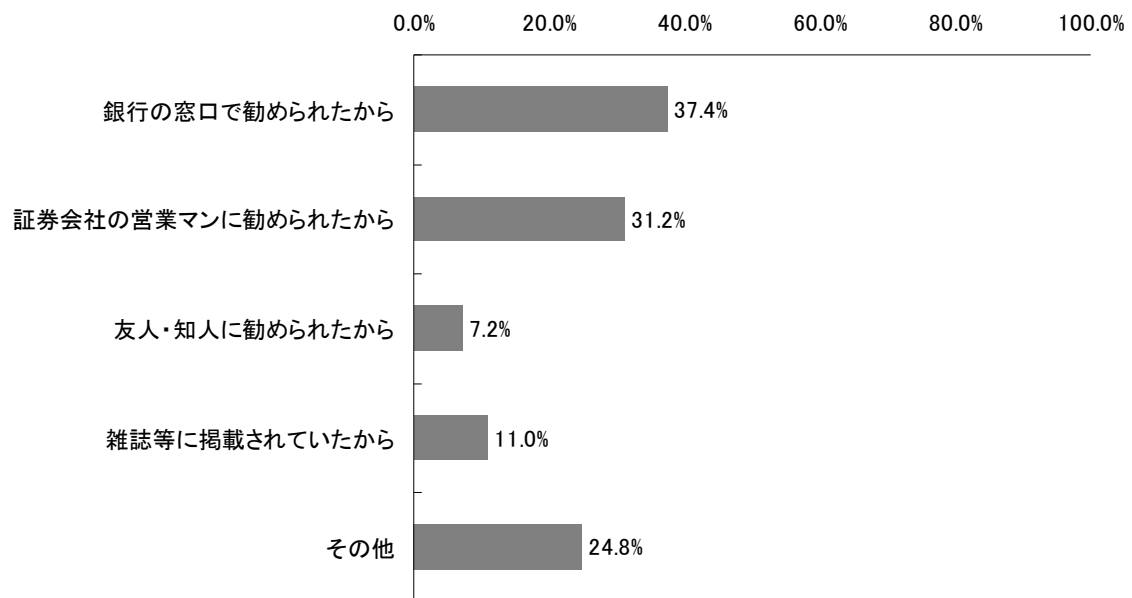
「銀行や対面証券で投信を購入したことがある」投資家は4割を超えていますが、銀行や対面証券で投信を購入する理由（Q4）のその他の意見で「当時はネットで買えなかったから」という回答が散見されたことからすると、必ずしもネット証券と銀行・対面証券を併用しているというわけではないようです。



【Q4】 ネット証券ではなく、銀行や対面証券で投信を購入する理由をお教えてください。

最も多かったのは、「証券会社の営業マンに勧められたから」ではなく、「銀行の窓口で勧められたから」となり、投資信託の購入先として銀行窓口が主流となっていることが見受けられます。

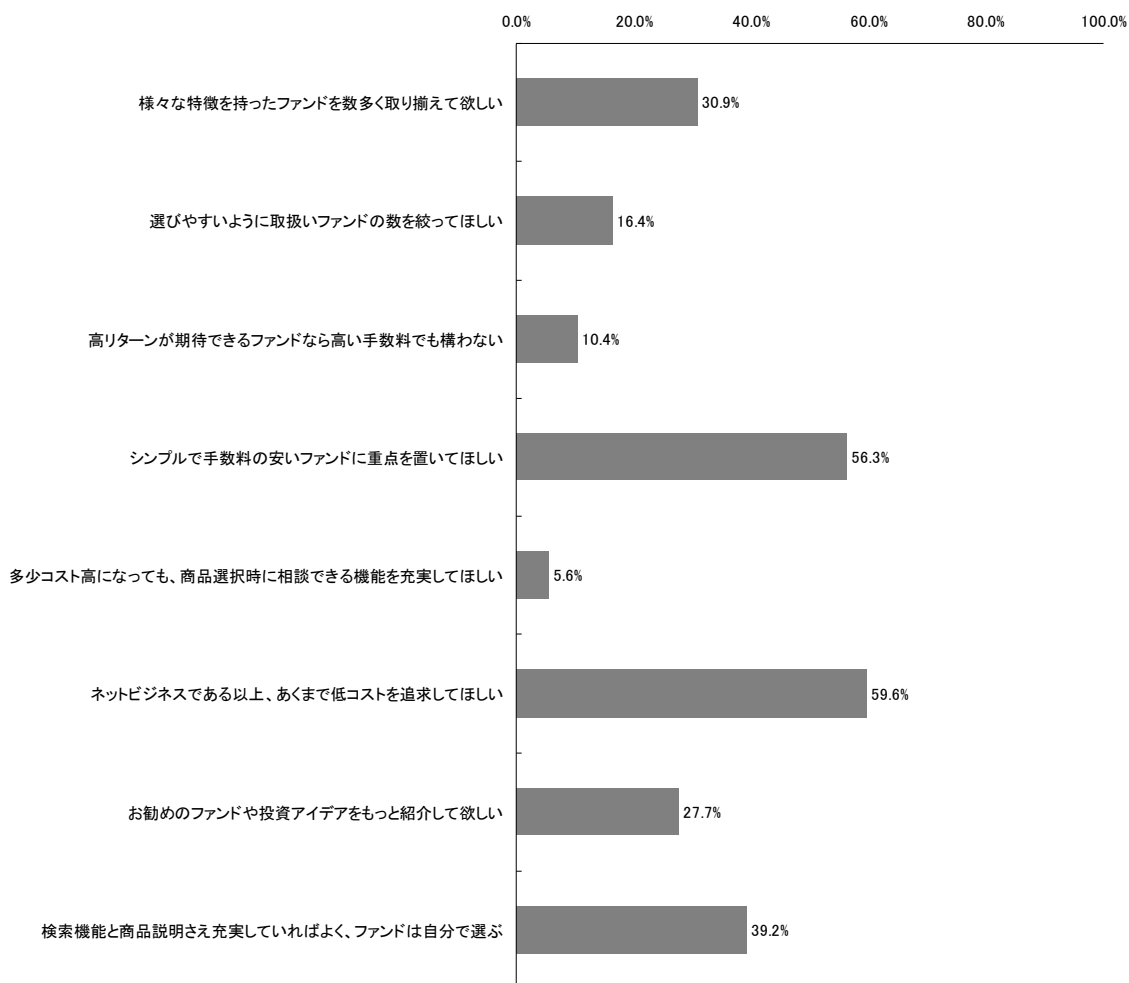
その他の意見としては、「説明を聞くため」という理由が多く、投資信託の商品性が多様・複雑になっていることから、投資家自身で判断することが難しくなっていることが窺われたほか、「ネット証券で販売していなかった」「その銀行・証券会社でしか取り扱っていなかった」など、販売会社によって取り扱える投資信託が異なることが原因と推測される回答も散見されました。



【Q5】 ネット証券の投資信託に期待することは何ですか？

「ネットビジネスである以上、あくまで低コストを追求してほしい」「シンプルで手数料の安いファンドに重点を置いてほしい」の2つの回答が突出しており、「低コスト」を求める声が断然多い結果となりました。

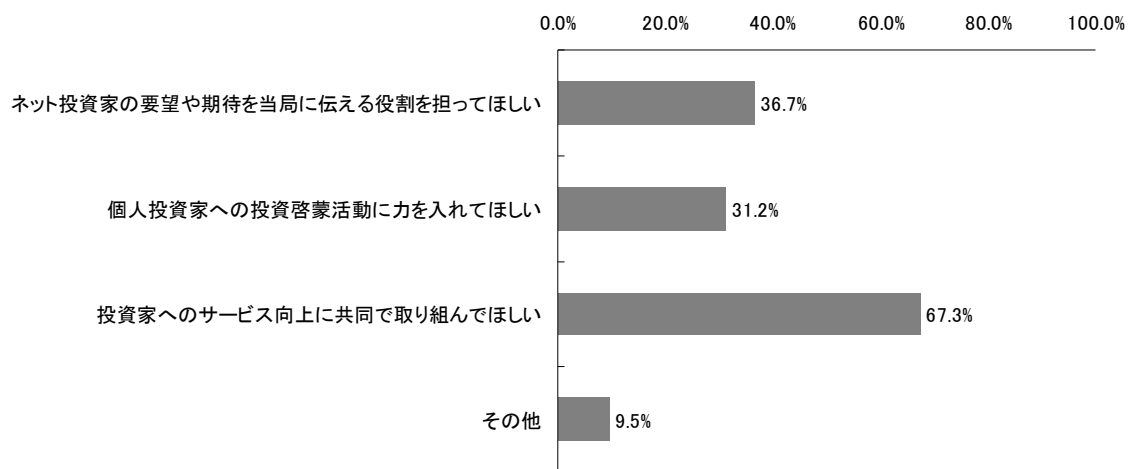
一方、「検索機能と商品説明さえ充実していればよく、ファンドは自分で選ぶ」や「お勧めのファンドや投資アイデアをもっと紹介してほしい」という回答も多く、コストを払ってまでは嫌だけれども、投資の参考になる情報は欲しいという投資家もかなりいることが推測されます。



【Q6】 ネット証券4社に期待することは何ですか？

最も多かったのは「投資家へのサービス向上に共同で取り組んでほしい」であり、ネット投資家は、ネット証券会社間での切磋琢磨による低コスト化だけでなく、「資産倍増プロジェクト」のように今後力を合わせていくことについても強く期待していることが確認できます。

その他の意見としては、これまでネット証券が投資家の支持を集めてきた背景である販売手数料や信託報酬などのコストの低減を求めるものが多く、情報の充実を求める回答も目立ちました。

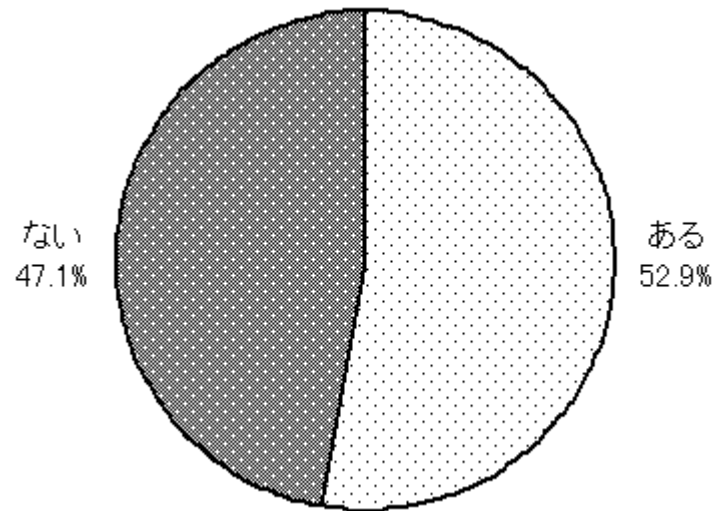


添付資料



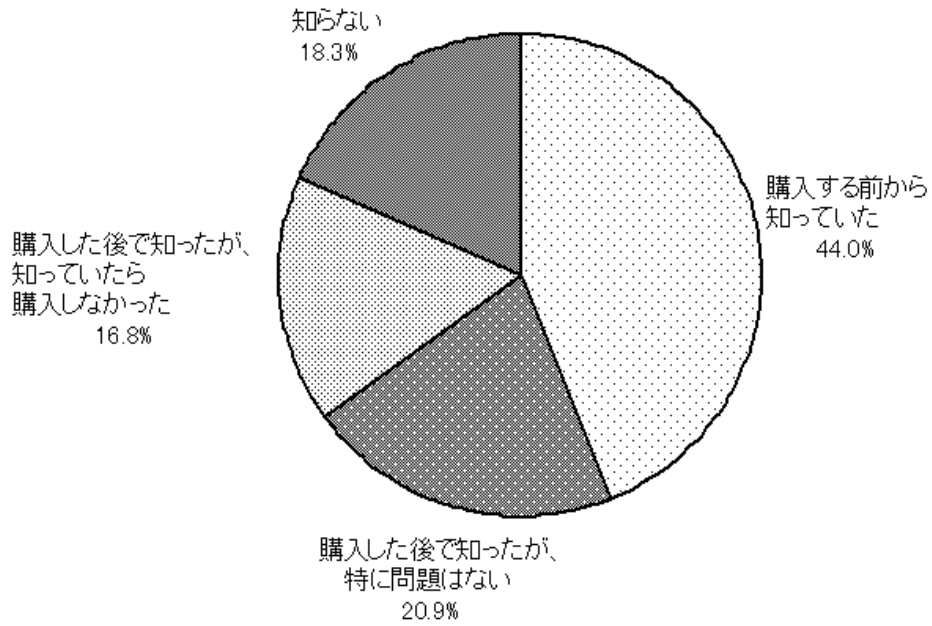
【Q7】 現在話題になっており、購入者も多い毎月分配型の投信についてお聞きします。毎月分配型の投資信託を購入したことがありますか？

ネット投資家においても、半分以上の方が毎月分配型投信を購入しているという結果となりました。



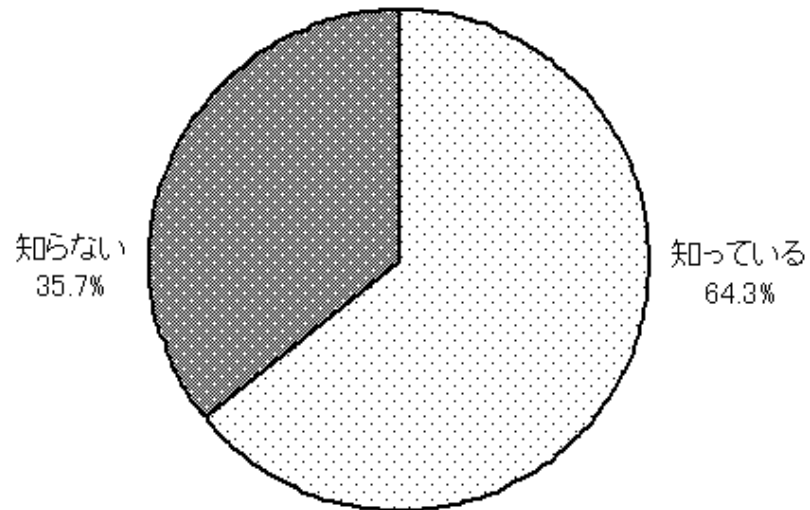
【Q8】 分配金が運用益以外の元本からも支払われているファンドがあることをご存知でしょうか？

新聞でも取り上げられ、当局も問題視しておりますが、「購入する前から知っていた」「購入した後で知ったが、特に問題はない」の2つの回答が3分の2を占めており、比較的文芸リテラシーの高いといわれるネット投資家の間では大きく問題視していない方が多いようです。



【Q9】通貨選択型の投資信託をご存知でしょうか？

「知っている」と回答した方が「知らない」と回答した方を上回る結果となりました。



【Q10】通貨選択型の投資信託は、仕組みが複雑な一方で、通貨選択型ではない同類の投資信託に比べ高い分配金を出すことを目指す商品設計になっています。このような商品性についてどのようにお考えでしょうか？

「どのような商品性でも、投資家が選択できるよう揃えておくべきだ」との意見が「一般投資家が商品性を理解しにくい商品は販売するべきではない」を大きく上回りましたが、後者の意見も3分の1近くを占めました。このことからすると、ネット投資家には自己完結型（自分で選ぶ）が多いと考えられてきましたが、投資対象商品の選択肢の多さだけでなく、「安心」を求める投資家も増えてきていると考えられます。

なお、その他の意見としては、「投資は自己責任」という意見が多く寄せられましたが、その前提として「商品説明をしっかり行う」「リスクを明示する」ことに言及している回答も散見されました。

